

HIV 合併悪性腫瘍の疫学・病理・治療・予後に関する後方視研究

※試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

1. 研究の対象

2011 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日に国立国際医療研究センターで HIV 感染と診断され、かつがんと診断された 20 歳以上の方

2. 研究目的・方法

本研究は、HIV 感染と診断されかつがんと診断された患者さんの臨床情報、組織検体を用いて、HIV 合併悪性腫瘍の臨床病理学的特徴、がん治療の内容・忍容性・予後等を調べます。

研究実施期間：倫理審査委員会承認日～2024 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：HIV 感染と診断され、かつがんと診断されたのカルテ情報

試料：病理検体

4. 外部への試料・情報の提供

国立国際医療研究センター病院で検体・情報を収集し、測定・解析いたします。検体は法律に定められた期間、国立国際医療研究センター乳腺・腫瘍内科診療科長室で保管します。研究組織外への試料・情報の提供はありません。

5. 研究責任者

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 乳腺・腫瘍内科・医師 下村昭彦

6. 利益相反・研究資金について

本研究は国立研究開発法人医療研究開発機構エイズ対策実用化研究事業（研究開発代表者：国立研究開発法人国立国際医療研究センター 照屋勝治）より資金提供を受けて実施されます。

本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反状態はありません。利益相反の状況については国立国際医療研究センターにおいては国立国際医療研究センター利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しております。

7. 個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させていただいたご自身の情報を施設の規定に則った形でご覧いただくことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

連絡先：〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1 TEL: 03-3202-7181

国立国際医療研究センター乳癌・腫瘍内科 下村昭彦